

証券コード 2531
2019年6月4日

株 主 各 位

京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地
宝ホールディングス株式会社
取締役社長 木 村 睦

第108回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配をたまり厚くお礼申しあげます。

さて、当社第108回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますから、ご出席くださいますようご通知申しあげます。

なお、当日ご出席願えない場合は、次のいずれかの方法によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の「株主総会参考書類」をご検討いただき、2019年6月26日（水曜日）午後5時30分までに議決権をご行使くださいますようお願い申しあげます。

[郵送による議決権行使の場合]

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、上記の行使期限までに到着するようご返送ください。

[インターネットによる議決権行使の場合]

後記の「インターネットによる議決権行使のご案内」（3頁）をご高覧のうえ、所定の議決権行使ウェブサイトアクセスしていただき、画面の案内に従って、上記の行使期限までに議案に対する賛否をご登録ください。

敬 具

記

1. 日 時 2019年6月27日（木曜日）午前10時
2. 場 所 京都市下京区東堀川通塩小路下ル松明町1番地
リーガロイヤルホテル京都2階「春秋の間」
（末尾の「定時株主総会会場ご案内図」をご参照ください。）

3. 会議の目的事項

報告事項

1. 第108期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）事業報告および連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第108期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

- | | |
|-------|-------------|
| 第1号議案 | 剰余金処分の件 |
| 第2号議案 | 取締役9名選任の件 |
| 第3号議案 | 監査役2名選任の件 |
| 第4号議案 | 取締役の報酬額改定の件 |

以 上

~~~~~  
◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。なお、受付開始は、午前9時を予定しております。

◎当日ご出席の場合は、郵送またはインターネットによる事前の議決権行使はいずれも不要です。

◎本招集ご通知に添付すべき書類のうち、次の事項につきましては、法令および定款の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト（アドレス <https://www.takara.co.jp>）に掲載しておりますので、本招集ご通知添付書類には記載しておりません。従いまして、本招集ご通知添付書類は、会計監査人が会計監査報告を作成するに際して監査をした連結計算書類および計算書類の一部であり、また、監査役が監査報告を作成するに際して監査をした事業報告、連結計算書類および計算書類の一部であります。

① 事業報告の「業務の適正を確保するための体制およびその運用状況の概要」および「会社の支配に関する基本方針」

② 連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」および「連結注記表」

③ 計算書類の「株主資本等変動計算書」および「個別注記表」

◎事業報告、連結計算書類および計算書類ならびに株主総会参考書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（アドレス <https://www.takara.co.jp>）に掲載させていただきます。

◎当社は、株式会社 I C J が運営する機関投資家向け「議決権電子行使プラットフォーム」に参加しております。

## インターネットによる議決権行使のご案内

### 1. インターネットによる議決権行使について

- (1) インターネットにより議決権を行使される場合は、パソコンまたは携帯電話等から当社指定の「議決権行使ウェブサイト」（下記URL）にアクセスのうえ、同封の議決権行使書用紙の右片に記載の議決権行使コードおよびパスワードにてログインしていただき、画面の案内に従って議案に対する賛否をご登録ください。なお、セキュリティ確保のため、初回ログインの際に、パスワードを変更していただく必要がございます。

<携帯電話用>

<https://soukai.mizuho-tb.co.jp/>



- (2) 行使期限は、2019年6月26日（水曜日）午後5時30分までです。お早めの行使をお願いいたします。
- (3) 書面（議決権行使書）とインターネットにより、重複して議決権を行使された場合は、インターネットによるものを有効な行使としてお取扱いいたします。また、インターネットにより、複数回、議決権を行使された場合は、最終のものを有効な行使としてお取扱いいたします。
- (4) 議決権行使コードおよびパスワード（株主様による変更後のものを含みます。）は、今回の株主総会のみ有効です。次回の株主総会時には、新たに発行いたします。
- (5) インターネット接続・利用に関する費用は、株主様のご負担となります。

#### （ご注意）

- ・パスワードは、議決権を行使される方が株主様ご本人であることを確認するためのものです。なお、パスワードを当社および株主名簿管理人よりお尋ねすることはありません。
- ・パスワードは、一定回数以上連続して誤ったご入力をされると使用できなくなります。その場合は、画面の案内に従ってお手続きください。
- ・議決権行使ウェブサイトは、一般的なインターネット接続機器にて動作確認を行っておりますが、株主様のご利用機器やインターネット環境等によっては、ご利用いただけない場合もございます。

### 2. お問合せ先について

ご不明な点は、株主名簿管理人である **みずほ信託銀行 証券代行部**（以下）までお問合せください。

- (1) 議決権行使ウェブサイトの操作方法等に関する専用お問合せ先  
フリーダイヤル 0120-768-524（平日 9:00~21:00）
- (2) 上記以外の株式事務に関するお問合せ先  
フリーダイヤル 0120-288-324（平日 9:00~17:00）

以上

#### （ご参考）

機関投資家の皆様につきましては、株式会社ICJが運営する「議決権電子行使プラットフォーム」をご利用いただくことが可能です。

## (添付書類)

# 事業報告

( 2018年4月1日から  
2019年3月31日まで )

## 1. 企業集団の現況

### (1) 事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費は力強さに欠けるものの、企業収益や雇用環境の改善を背景に、経済全体は緩やかな回復基調が続いております。また、海外においても、同様に緩やかな回復傾向が続いておりますが、中国経済の持ち直しの動きに足踏みがみられていることや、米中間の通商問題の動向などもあり、世界経済は依然として先行きが不透明な状況です。

このような経済状況のもと、当社グループは、長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」の達成に向けた最終ステップとしての「宝グループ中期経営計画2019」のもと、海外売上高比率をさらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争優位性をもった商品を多数もつことで、他社に勝てる分野を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を大きく伸長させることができるバランスのとれた事業基盤を確立することを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高277,443百万円(前期比103.5%)、売上総利益108,749百万円(前期比104.0%)、営業利益17,804百万円(前期比114.0%)、経常利益18,359百万円(前期比114.1%)、親会社株主に帰属する当期純利益10,411百万円(前期比94.4%)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

### 〔宝酒造〕

国内の人口減少や高齢化の影響などからアルコールの総消費数量は減少傾向が続いており、今後も厳しい事業環境が続くと思われれます。

このような環境のもと、宝酒造では、技術で差異化された商品の開発を継続するとともに、多様化する消費者ニーズにスピーディーかつタイムリーに対応するために商品開発体制を強化し、ラインアップの拡充を行うことで酒類・調味料の各カテゴリーにおける競争力を高めることに注力しております。また、高付加価値商品の売上構成比を高めることで利益率の向上を図りながら、食品メーカーとして安全・安心な商品を提供すべく原材料等の安全性確保と品質管理体制の強化にも取り組んでおります。

当セグメントの売上状況などは次のとおりであります。

### 酒類

#### (焼酎)

焼酎では、甲類焼酎については、樽貯蔵熟成酒を活かして「宝焼酎」ブランドの活性化に取り組みました。また、東京の料飲店を起点としたレモンサワー

ブームは拡大を続けておりますが、最近では、特にこだわりのレモンサワーが人気となっており、家庭でつくるこだわりのレモンサワーのベース焼酎として最適な“こだわりのレモンサワー用〈宝焼酎〉”を発売いたしました。本格焼酎では、“全量芋焼酎「一刻者」〈白〉”や“全量芋焼酎「一刻者」〈樽貯蔵〉”を発売するなど一刻者ブランドの活性化に努めました。

しかしながら、市場の減少の影響を受け、焼酎全体の売上高は、53,382百万円(前期比97.5%)となりました。

#### (清酒)

清酒では、家庭向けには“松竹梅「天」”、業務用ルートでは“松竹梅「豪快」”の拡売に努めました。「霽」では、口に広がる爽やかな酸味とクリアな後味が特長の“松竹梅白壁蔵「霽」〈BRUT辛口〉スパークリング清酒”を業務用ルート先行で、また、昨年に引き続き“松竹梅白壁蔵「霽」〈GOLD〉スパークリング清酒”を期間数量限定で、それぞれ発売いたしました。さらに、吟醸酒や純米酒などの特定名称酒の拡売に努めました。

しかしながら、市場の減少の影響を受け、清酒全体の売上高は、21,394百万円(前期比96.3%)となりました。

#### (ソフトアルコール飲料)

ソフトアルコール飲料では、基幹ブランドと位置付けております辛口チューハイ“タカラ「焼酎ハイボール」”の拡売に最注力いたしました。樽貯蔵熟成酒のおいしさを活かしたこだわりのレモンサワーの「極上レモンサワー」では、“寶「極上レモンサワー」〈つけ込み塩レモン〉”や“寶「極上レモンサワー」〈しょうがレモン〉”などを発売いたしました。また、「寶CRAFT」は、日本各地のご当地素材を使用し、ベースアルコールに樽貯蔵熟成酒をブレンドするなど、当社ならではのこだわりの製法で仕上げた高付加価値のチューハイであり、ご当地の嗜好性やグルメに合う地域限定のチューハイとして、引き続きラインアップの拡充を図っております。

以上の結果、ソフトアルコール飲料全体の売上高は、38,777百万円(前期比112.3%)となりました。

#### (その他酒類)

その他酒類では、ウイスキーは増加しましたが、合成清酒や中国酒などが減少しましたので売上高は、6,482百万円(前期比97.6%)となりました。

以上の結果、酒類全体の売上高は、120,037百万円(前期比101.6%)となりました。

#### 調味料

調味料では、ユーザーニーズに基づいた商品や独自技術で差異化された高付加価値商品などの開発・育成に取り組んでおり、本みりんでは、9種類以上の糖と18種類のアミノ酸による調理効果の訴求を強化すべく、パッケージデザインのリニューアルを行いました。また、引き続き料理清酒に注力し、発酵調味料などの食品調味料の拡売にも努めました。調味料全体の売上高は、23,583百万円(前期比99.0%)となりました。

## 原料用アルコール等

原料用アルコール等では、工業用アルコールや酒類の原料用アルコールなどの拡売に努めた結果、原料用アルコール等の売上高は、8,836百万円(前期比112.5%)となりました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、152,457百万円(前期比101.7%)となりました。売上原価は、91,441百万円(前期比102.0%)となり、売上総利益は、61,015百万円(前期比101.4%)となりました。販売費及び一般管理費は、運送費や販売促進費などの増加により55,067百万円(前期比100.9%)となり、営業利益は、5,948百万円(前期比106.8%)となりました。

## 〔宝酒造インターナショナルグループ〕

宝酒造インターナショナルグループは、日本からの酒類の輸出や海外各地で酒類の製造・販売を行う海外酒類事業と海外の日本食レストランや小売店に日本食材などを販売する海外日本食材卸事業を展開しており、今後もさらなる拡大が期待される世界の日本食市場の広がりを背景に、「和食」に加え、日本伝統のお酒である清酒や焼酎といった「和酒」のおいしさを伝えることで、日本の食文化を世界に広め、世界の和酒・和食市場におけるリーディングカンパニーを目指して事業活動に取り組んでおります。

宝酒造インターナショナルグループの売上高は、Mutual Trading Co., Inc. (米国)やFOODEX S. A. S. (仏国)などの海外日本食材卸事業が好調に推移し、海外酒類事業でもウイスキーなどが増加しましたので、77,834百万円(前期比110.1%)となりました。売上原価は、54,823百万円(前期比110.0%)となり、売上総利益は、23,010百万円(前期比110.2%)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や運送費などの増加により18,478百万円(前期比112.1%)となり、営業利益は、4,532百万円(前期比103.2%)となりました。

## 〔タカラバイオグループ〕

タカラバイオグループでは、「バイオ産業支援事業」、「遺伝子医療事業」、「医食品バイオ事業」の3つの事業部門戦略の推進とこれを支える経営基盤を強化し、グローバル企業かつ再生医療等製品企業としてのプレゼンスを向上させ、飛躍的な成長を目指していくための取り組みを推進いたしました。

### バイオ産業支援事業

バイオテクノロジー関連分野の研究開発活動がますます広がりを見せるなか、タカラバイオグループでは、こうした研究開発活動を支援する製品・商品やサービスを中心に展開する当事業をコアビジネスと位置付けております。

当連結会計年度は、理化学機器は減少いたしましたが、主力の研究用試薬および受託サービスは増加いたしました。

以上の結果、バイオ産業支援事業の売上高は、31,575百万円(前期比106.8%)となりました。

## 遺伝子医療事業

遺伝子医療事業では、がん等の疾患を対象とし、腫瘍溶解性ウイルス canerpaturev(略称C-REV、旧称HF10)や、独自技術である高効率遺伝子導入技術レトロネクチン法、高効率リンパ球増殖技術であるレトロネクチン拡大培養法、siTCR®技術を使用した、遺伝子改変T細胞療法等の遺伝子治療の臨床開発を進めております。

当連結会計年度は、日本におけるNY-ESO-1・siTCR®遺伝子治療薬およびCD19・CAR遺伝子治療薬に関する共同開発・独占販売契約にかかる対価料および本契約にもとづく治験製品等の売上高を計上いたしました。

以上の結果、遺伝子医療事業の売上高は、2,443百万円(前期比488.6%)となりました。

## 医食品バイオ事業

医食品バイオ事業では、タカラバイオグループ独自の先端バイオテクノロジーを駆使して食物の科学的根拠を明確にした機能性食品素材の開発、製造および販売を行い、ガゴメ昆布フコイダン関連製品、寒天アガロオリゴ糖関連製品、明日葉カルコン関連製品、ボタンボウフウイソサミジン関連製品、ヤムイモヤムスゲン関連製品およびキノコ関連製品等を中心に事業を展開いたしました。

当連結会計年度は、健康食品関連製品およびキノコ関連製品がいずれも減少いたしました。

以上の結果、医食品バイオ事業の売上高は、1,822百万円(前期比81.2%)となりました。

なお、当事業のうち健康食品にかかる事業は、2019年1月1日を効力発生日として、会社分割(吸収分割)の方法によりシオノギヘルスケア株式会社へ承継し、キノコにかかる事業は、2019年3月1日を効力発生日として、株式会社雪国まいたけへ事業譲渡いたしました。これにより、医食品バイオ事業は終了いたしました。

以上の結果、タカラバイオグループの売上高は、35,841百万円(前期比110.9%)となりました。売上原価は、15,155百万円(前期比111.0%)となり、売上総利益は、20,685百万円(前期比110.9%)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などの増加により15,221百万円(前期比100.8%)となり、営業利益は、5,463百万円(前期比153.7%)となりました。

## 〔その他〕

その他のセグメントは、当社の不動産賃貸事業や国内グループ会社の物流事業などであり、当セグメントの売上高は、前連結会計年度中にタカラ長運株式会社の株式を売却し、同社を連結の範囲から除外した影響などにより、32,742百万円(前期比89.9%)となりました。売上原価は、27,851百万円(前期比90.9%)となり、売上総利益は、4,891百万円(前期比84.7%)となりました。販売費及び一般管理費は、2,936百万円(前期比84.9%)となり、営業利益は、1,954百万円(前期比84.3%)となりました。

## (2) 設備投資の状況

当連結会計年度の設備投資(継続中のものを含む)は、無形固定資産、建設仮勘定に計上したものを含め総額10,671百万円であります。

そのうち主要なものは次のとおりであります。

宝酒造株式会社

チューハイ製造設備設置

Takara Sake USA Inc.

清酒製造設備設置

タカラバイオ株式会社

研究開発施設および再生医療等製品の製造施設

次世代シーケンサー関連装置設置

## (3) 資金調達の状況

当連結会計年度は特記すべき資金調達は行っておりません。

なお、当社は機動的な資金調達を目的として、融資枠10,000百万円のコミットメントラインを設定いたしておりますが、当連結会計年度中は借入を行っておりません。

## (4) 直前3事業年度の財産および損益の状況

| 区 分                       | 第105期<br>(2016年3月期) | 第106期<br>(2017年3月期) | 第107期<br>(2018年3月期) | 第108期<br>(2019年3月期) |
|---------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 売上高 (百万円)                 | 225,364             | 234,193             | 268,142             | 277,443             |
| 営業利益 (百万円)                | 11,680              | 13,551              | 15,612              | 17,804              |
| 経常利益 (百万円)                | 12,840              | 14,344              | 16,084              | 18,359              |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 (百万円) | 7,055               | 8,480               | 11,029              | 10,411              |
| 1株当たり当期純利益 (円)            | 35.06               | 42.15               | 54.97               | 52.15               |
| 総資産 (百万円)                 | 253,253             | 274,368             | 284,281             | 287,106             |
| 純資産 (百万円)                 | 156,148             | 165,920             | 176,217             | 179,795             |
| 1株当たり純資産額 (円)             | 647.97              | 671.11              | 726.90              | 742.36              |

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度より適用しており、第107期に係る財産および損益の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。



## (5) 重要な子会社の状況

| 会社名                                  | 議決権比率<br>(%) | 主要な事業の内容              |
|--------------------------------------|--------------|-----------------------|
| 宝酒造株式会社                              | 100.0        | 酒類、調味料、原料用アルコールの製造・販売 |
| 宝酒造インターナショナル株式会社                     | 100.0        | グループ会社の管理、酒類・調味料の輸出販売 |
| Takara Sake USA Inc.                 | (100.0)      | 酒類、調味料の製造・販売          |
| Age International, Inc.              | (100.0)      | バーボンウイスキーの販売          |
| The Tomatin Distillery Co.Ltd        | (80.6)       | スコッチウイスキーの製造・販売       |
| FOODEX S. A. S.                      | (100.0)      | 酒類、食品、調味料等の輸入および卸売業   |
| Cominport Distribución S.L.          | (100.0)      | 酒類、食品、調味料等の輸入および卸売業   |
| Tazaki Foods Ltd.                    | (100.0)      | 酒類、食品、調味料等の輸入および卸売業   |
| Mutual Trading Co., Inc.             | (67.1)       | 酒類、食品、調味料等の輸入および卸売業   |
| Nippon Food Supplies Company Pty Ltd | (51.0)       | 酒類、食品、調味料等の輸入および卸売業   |
| タカラバイオ株式会社                           | 60.9         | バイオ製品の製造・販売、受託サービス    |
| Takara Bio USA, Inc.                 | (100.0)      | 研究用試薬、理化学機器の開発・販売     |
| 宝生物工程(大連)有限公司                        | (100.0)      | 研究用試薬の開発・製造・販売、受託サービス |
| 宝日医生物技術(北京)有限公司                      | (100.0)      | 研究用試薬、理化学機器の販売        |
| Takara Bio Europe S. A. S.           | (100.0)      | 研究用試薬、理化学機器の販売        |
| タカラ物流システム株式会社                        | 100.0        | 貨物運送業                 |
| 株式会社ラック・コーポレーション                     | 100.0        | ワインの輸入販売              |

(注) 議決権比率の( )内は間接所有割合であります。

## (6) 対処すべき課題

当社グループを取り巻く環境は、国内においては、輸出などに力強さが欠けるものの、雇用・所得環境の改善が続く中での個人消費の持ち直しと、成長分野への対応などを背景にした設備投資の増加により、緩やかな回復基調が続くことが見込まれます。一方、海外においては、全体としては緩やかな回復傾向が続くことが見込まれますが、通商問題の動向、金融資本市場の変動、政治情勢の不安定さなど、その先行きには不透明感が漂う状況にもあります。

このような状況の中、当社グループでは、2011年4月よりスタートした10カ年の長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」で目標に掲げた「国内外の強みを活かせる市場で事業を伸ばし、環境変化に強いバランスのとれた事業構造を確立する」ことを目指し、その達成のための最終ステップとなる「宝グループ中期経営計画2019」に取り組んでおります。「宝グループ中期経営計画2019」の基本方針ならびにその最終年度となる2020年3月期の業績目標とその達成に向けた事業戦略などにつきましては、以下に記載のとおりであります。

### 「宝グループ中期経営計画2019」基本方針

海外売上高比率をさらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争優位性をもった商品を多数もつことで、他社に勝てる分野を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を大きく伸長させることができるバランスのとれた事業基盤を確立する

### 2020年3月期業績目標

2020年3月期 宝グループ連結

|          |         |             |            |
|----------|---------|-------------|------------|
| ・売上高     | 2,900億円 | (中期経営計画定量目標 | 2,950億円以上) |
| ・営業利益    | 190億円   | (同          | 187億円以上)   |
| ・海外売上高比率 | 36%     | (同          | 35%以上)     |

### 事業戦略

#### <宝酒造>

技術で差異化された商品開発と商品ラインアップの拡充により、清酒やソフトアルコール飲料を中心に各カテゴリーの売上高を拡大するとともに、利益率を向上させ、国内の酒類・調味料市場で和酒No.1メーカーとしての地位をさらに盤石なものとする。

#### <宝酒造インターナショナルグループ>

海外清酒市場における圧倒的シェアNo.1の実現と日本食材卸網の拡充による事業規模の飛躍的な拡大を図るとともに、事業基盤の整備を進め、世界の和酒・和食市場におけるリーディングカンパニーに向けて地歩を固める。

#### <タカラバイオグループ>

「バイオ産業支援事業」、「遺伝子医療事業」に経営資源を集中するとともに、これらを支える経営基盤を強化し、グローバル企業かつ再生医療等製品企業としてのプレゼンスをさらに向上させ、飛躍的な成長を目指す。

### 財務方針

健全な財務体質を維持しながら、成長投資を行うとともに、適切な株主還元を実施することによってROEを向上させ、適正な株価水準を実現する。

グループ全体の経営を統括する当社は、グローバル展開の拡大に向けた経営管理機能のさらなる強化などを通じて確固たるグループ経営基盤を確立し、当社グループの企業価値の向上のため邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

#### (7) 企業集団の主要な事業セグメント (2019年3月31日現在)

当社は、グループ会社の株式を保有することにより事業活動を支配および管理する持株会社であります。

当社グループが営む事業セグメント別の主要な事業の内容は次のとおりであります。

| 事業セグメントの名称       | 主要な事業の内容                                             |
|------------------|------------------------------------------------------|
| 宝 酒 造            | 焼酎・清酒・ソフトアルコール飲料・ウイスキー・中国酒・本みりん・食品調味料・原料用アルコールの製造・販売 |
| 宝酒造インターナショナルグループ | 海外における日本食材の輸入および卸売業、ウイスキー・清酒の製造・販売                   |
| タカラバイオグループ       | 研究用試薬の製造・販売、理化学機器の販売、受託サービス                          |
| そ の 他            | 貨物運送、ワインの輸入販売、不動産賃貸                                  |

#### (8) 企業集団の主要な拠点等 (2019年3月31日現在)

当社 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地

##### (宝酒造)

|         |       |                                                                                                   |
|---------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宝酒造株式会社 | 本社事務所 | 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地                                                                             |
|         | 東京事務所 | 東京都中央区日本橋二丁目15番10号                                                                                |
|         | 支社    | 北海道支社（北海道）、東北支社（宮城県）、首都圏支社（東京都）、西関東支社（神奈川県）、関信越支社（群馬県）、東海支社（愛知県）、京滋北陸支社（京都府）、西日本支社（大阪府）、九州支社（福岡県） |
|         | 工場    | 松戸工場（千葉県）、楠工場（三重県）、伏見工場（京都府）、白壁蔵（兵庫県）、黒壁蔵（宮崎県）、島原工場（長崎県）                                          |

##### (宝酒造インターナショナルグループ)

宝酒造インターナショナル株式会社（京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地）  
Takara Sake USA Inc.（米国）  
Age International, Inc.（米国）

The Tomatin Distillery Co.Ltd (英国)  
 FOODEX S. A. S. (仏国)  
 Cominport Distribución S. L. (スペイン)  
 Tazaki Foods Ltd. (英国)  
 Mutual Trading Co., Inc. (米国)  
 Nippon Food Supplies Company Pty Ltd (豪州)

**(タカラバイオグループ)**

タカラバイオ株式会社 本社 滋賀県草津市野路東七丁目4番38号  
 事業所 草津事業所 (滋賀県)

Takara Bio USA, Inc. (米国)  
 宝生物工程(大連)有限公司(中国)  
 宝日医生物技術(北京)有限公司(中国)  
 Takara Bio Europe S. A. S. (仏国)

**(その他)**

タカラ物流システム株式会社(京都府)  
 株式会社ラック・コーポレーション(東京都)

**(9) 企業集団の従業員の状況 (2019年3月31日現在)**

| 事業セグメントの名称       | 従業員数   | 前連結会計年度末比増減 |
|------------------|--------|-------------|
| 宝 酒 造            | 1,277名 | 46名増        |
| 宝酒造インターナショナルグループ | 1,244名 | 117名増       |
| タカラバイオグループ       | 1,435名 | 13名減        |
| そ の 他            | 354名   | 13名減        |
| 当 社              | 183名   | 7名増         |
| 合 計              | 4,493名 | 144名増       |

**(10) 主要な借入先の状況 (2019年3月31日現在)**

| 借 入 先             | 借 入 額    |
|-------------------|----------|
| 株 式 会 社 み ず ほ 銀 行 | 1,727百万円 |
| 農 林 中 央 金 庫       | 1,340百万円 |

(注) 上記のほか、シンジケートローンによる借入金(総額10,000百万円)があります。

**(11) その他企業集団の現況に関する重要な事項**

特記すべき事項はありません。

## 2. 会社の株式に関する事項（2019年3月31日現在）

- (1) 発行可能株式総数 870,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 201,699,743株（自己株式2,069,706株を含む。）
- (3) 株主数 25,334名
- (4) 大株主

| 株主名                       | 持株数    | 持株比率  |
|---------------------------|--------|-------|
|                           | 千株     | %     |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）   | 28,065 | 14.06 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口） | 19,395 | 9.72  |
| 株式会社みずほ銀行                 | 9,738  | 4.88  |
| 農林中央金庫                    | 9,500  | 4.76  |
| 明治安田生命保険相互会社              | 5,370  | 2.69  |
| 株式会社京都銀行                  | 5,000  | 2.50  |
| 国分グループ本社株式会社              | 3,489  | 1.75  |
| 宝グループ社員持株会                | 3,067  | 1.54  |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口） | 3,049  | 1.53  |
| 日本アルコール販売株式会社             | 3,000  | 1.50  |

- (注) 1. 持株数の千株未満は切り捨てております。  
2. 持株比率は、自己株式（2,069千株）を控除して計算しております。

- (5) その他株式に関する重要な事項  
特記すべき事項はありません。

## 3. 会社の新株予約権等に関する事項

記載すべき事項はありません。

#### 4. 会社役員に関する事項

##### (1) 取締役および監査役の氏名等 (2019年3月31日現在)

| 地 位       | 氏 名       | 担当および重要な兼職の状況                                                         |
|-----------|-----------|-----------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役会長   | 大 宮 久     | 宝酒造株式会社代表取締役会長、<br>宝酒造インターナショナル株式会社代表取締役会長、<br>タカラバイオ株式会社取締役会長        |
| 代表取締役副会長  | 柿 本 敏 男   | 宝酒造株式会社取締役、<br>宝酒造インターナショナル株式会社取締役                                    |
| 代表取締役社長   | 木 村 睦     | 宝酒造インターナショナル株式会社代表取締役社長、<br>宝酒造株式会社取締役                                |
| 取 締 役     | 仲 尾 功 一   | タカラバイオ株式会社代表取締役社長                                                     |
| 取 締 役     | 村 田 謙 二   | 宝酒造株式会社代表取締役社長                                                        |
| 取 締 役     | 高 橋 秀 夫   | 人事、総務、環境広報、品質保証担当、<br>宝酒造株式会社監査役                                      |
| 取 締 役     | 森 圭 助     | 事業管理、I R、経理・シェアードサービス、<br>事業支援・I T推進担当、事業管理部長、<br>宝酒造インターナショナル株式会社監査役 |
| 取 締 役     | 吉 田 寿 彦   | 吉田寿彦税理士事務所税理士                                                         |
| 取 締 役     | 友 常 理 子   | 弁護士 田辺総合法律事務所パートナー、<br>自衛隊員倫理審査会委員                                    |
| 常 勤 監 査 役 | 渡 邊 西 造   |                                                                       |
| 常 勤 監 査 役 | 山 中 俊 人   |                                                                       |
| 常 勤 監 査 役 | 三 枝 智 之   |                                                                       |
| 常 勤 監 査 役 | 鷲 野 稔     |                                                                       |
| 監 査 役     | 北 井 久 美 子 | 株式会社協和エクシオ取締役、<br>三井住友建設株式会社取締役、<br>勝どき法律事務所弁護士                       |

(注) 1. 「重要な兼職の状況」について

当社子会社の役職に関しては、当社の重要な子会社(1. (5)「重要な子会社の状況」に記載)における重要な職務を記載の対象としております。

2. 取締役 吉田寿彦および友常理子の両氏は、社外取締役であります。
3. 常勤監査役 山中俊人および三枝智之ならびに監査役 北井久美子の3氏は、社外監査役であります。
4. 取締役 吉田寿彦および友常理子ならびに監査役 北井久美子の3氏については、当社が株式を上場している東京証券取引所に対し、同取引所の規則等に定める「独立役員」としての届出をしております。
5. 常勤監査役 山中俊人および三枝智之の両氏は、ともに金融機関での長年の業務経験その他を通じて、財務および会計に関する相当程度の知見を有するものであります。

## 6. 当事業年度中の取締役および監査役の異動

- (1) 2018年6月28日開催の第107回定時株主総会において、高橋秀夫、森 圭助および友常理子の3氏は取締役に、また、鷺野 稔氏は監査役に新たに選任され、それぞれ就任しました。
  - (2) 2018年6月28日付で、取締役 鷺野 稔、伊藤和慶および藪ゆき子の3氏は、それぞれ任期満了により退任しました。
  - (3) 2018年6月28日付で、監査役 上田伸次氏は辞任しました。
  - (4) 2018年6月28日開催の取締役会において、代表取締役社長 柿本敏男氏は代表取締役副会長に、代表取締役副社長 木村 睦氏は代表取締役社長に新たに選定され、それぞれ就任しました。
  - (5) 2018年6月28日開催の監査役会において、監査役 鷺野 稔氏は常勤監査役に新たに選定され、就任しました。
7. 2019年4月1日付で取締役の担当を一部変更し、次のとおりとしました。
- 取締役 森 圭助 事業管理、I R、経理・シェアードサービス、  
事業支援・I T推進担当

## (2) 取締役および監査役の報酬等

## ① 当事業年度にかかる報酬等の総額

| 役員区分             | 固定報酬額       |             | 業績連動報酬額   |             | 合計<br>(百万円) |
|------------------|-------------|-------------|-----------|-------------|-------------|
|                  | 対象員数        | 総額<br>(百万円) | 対象員数      | 総額<br>(百万円) |             |
| 取締役<br>(うち社外取締役) | 12名<br>(3名) | 113<br>(13) | 9名<br>(-) | 93<br>(-)   | 206<br>(13) |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | 6名<br>(3名)  | 87<br>(47)  | -<br>(-)  | -<br>(-)    | 87<br>(47)  |
| 合計<br>(うち社外役員)   | 18名<br>(6名) | 200<br>(61) | 9名<br>(-) | 93<br>(-)   | 294<br>(61) |

- (注) 1. 取締役の報酬等の額には、使用人兼務取締役の使用人分の給与は含まれておりません。
2. 取締役の報酬限度額は、固定報酬額については、2017年6月29日開催の第106回定時株主総会において年額136百万円以内（うち社外取締役分20百万円以内）、業績連動報酬額（社外取締役以外の取締役を対象）については、2015年6月26日開催の第104回定時株主総会において年間につき前事業年度の連結営業利益の1%相当額以内（ただし、これらの額には使用人兼務取締役の使用人分の給与は含まない。）と決議いただいております。また、監査役の報酬限度額は、2017年6月29日開催の第106回定時株主総会において年額120百万円以内と決議いただいております。
3. 当事業年度末現在の取締役は9名（うち社外取締役2名）、監査役は5名（うち社外監査役3名）であります。上記の取締役および監査役の人数と相違しておりますのは、上記には、2018年6月28日開催の第107回定時株主総会終結の時をもって退任した取締役3名（うち社外取締役1名）および監査役1名が含まれているためであります。

## ② 報酬等の額の決定に関する方針の内容とその決定方法

取締役および監査役の報酬については、株主総会で決議いただいたそれぞれの報酬総額の限度額の範囲内において、取締役会にて承認された「役員報酬内規」に基づき決定いたしております。

取締役の報酬額は、役職位に応じた役付部分と役位ごとの基準金額をもとに各取締役の前年度の業績評価の点数に応じて決定される業績評価部分からなります。なお、業績評価部分の取締役個々の業績評価は、代表取締役社長が他の代表取締役との協議を経て行います。

監査役の報酬額は、監査役の協議により決定いたします。

「役員報酬内規」の改定は、取締役に関する部分は取締役会の決議、監査役に関する部分は監査役の協議を経るものとされております。

## (3) 社外役員に関する事項

### ① 他の法人等の業務執行者または社外役員等の兼職の状況

| 地位    | 氏名    | 兼職先および兼職の状況                           |
|-------|-------|---------------------------------------|
| 社外取締役 | 友常理子  | 弁護士 田辺総合法律事務所 パートナー                   |
| 社外監査役 | 北井久美子 | 株式会社協和エクシオ 社外取締役、<br>三井住友建設株式会社 社外取締役 |

(注) 社外取締役 友常理子氏がパートナーを務める田辺総合法律事務所ならびに社外監査役 北井久美子氏が社外取締役を務める株式会社協和エクシオおよび三井住友建設株式会社と当社との間には、いずれも特別な関係はありません。

### ② 当事業年度における主な活動状況

| 地位    | 氏名   | 主な活動状況                                                                                      |
|-------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社外取締役 | 吉田寿彦 | 当事業年度中に開催の取締役会14回中11回に出席し、必要に応じ、取締役会の意思決定の適正性を確保するための質問その他の発言を行っております。                      |
| 社外取締役 | 友常理子 | 当事業年度中、取締役就任後に開催の取締役会9回のすべてに出席し、必要に応じ、取締役会の意思決定の適正性を確保するための質問その他の発言を行っております。                |
| 社外監査役 | 山中俊人 | 当事業年度中に開催の取締役会14回中13回および監査役会14回のすべてに出席し、必要に応じ、取締役会および監査役会の意思決定の適正性を確保するための質問その他の発言を行っております。 |



| 地位    | 氏名    | 主な活動状況                                                                                  |
|-------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 社外監査役 | 三枝智之  | 当事業年度中に開催の取締役会14回および監査役会14回のすべてに出席し、必要に応じ、取締役会および監査役会の意思決定の適正性を確保するための質問その他の発言を行っております。 |
| 社外監査役 | 北井久美子 | 当事業年度中に開催の取締役会14回および監査役会14回のすべてに出席し、必要に応じ、取締役会および監査役会の意思決定の適正性を確保するための質問その他の発言を行っております。 |

### ③ 責任限定契約の内容の概要

社外取締役 吉田寿彦および友常理子ならびに社外監査役 山中俊人、三枝智之および北井久美子の5氏は、当社との間で、会社法第425条第1項各号の額の合計額を責任限度額とする責任限定契約を締結しております。

### (4) その他会社役員に関する重要な事項

特記すべき事項はありません。

## 5. 会計監査人の状況

(1) 会計監査人の名称 有限責任監査法人トーマツ

### (2) 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

|                                          |        |
|------------------------------------------|--------|
| 当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額                   | 57百万円  |
| 当社および子会社が会計監査人に支払うべき金銭<br>その他の財産上の利益の合計額 | 126百万円 |

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査および金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を区分しておりませんので、上記当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査役会は、日本監査役協会が公表する「会計監査人との連携に関する実務指針」を踏まえ、取締役、社内関係部署および会計監査人から必要な資料を入手し、報告を受けた上で、会計監査人の監査内容、職務執行状況および監査報酬の推移等について確認し、検討した結果、会計監査人の報酬等につき会社法第399条第1項の同意を行っております。
3. 当社の重要な子会社のうち、FOODEX S. A. S. 等は、当社の会計監査人以外の監査を受けております。

### (3) 非監査業務の内容

公認会計士法第2条第1項の業務以外の業務として海外子会社の内部統制報告制度対応に関する助言サービスの対価を支払っております。

### (4) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合には、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任することといたします。

また、そのほか会計監査人が職務を適切に遂行することが困難であると認められる場合、または監査の適正性をより高めるために会計監査人の変更が妥当であると判断される場合には、監査役会は、株主総会に提出する会計監査人の解任または会計監査人を再任しないことに関する議案の内容を決定することといたします。

# 連結貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部   |         | 負 債 の 部       |         |
|-----------|---------|---------------|---------|
| 科 目       | 金 額     | 科 目           | 金 額     |
| 流 動 資 産   | 175,011 | 流 動 負 債       | 57,822  |
| 現金及び預金    | 49,415  | 支払手形及び買掛金     | 16,374  |
| 受取手形及び売掛金 | 52,892  | 短期借入金         | 9,960   |
| 電子記録債権    | 6,887   | 未払酒税          | 10,224  |
| 有価証券      | 16,089  | 未払費用          | 5,809   |
| 商品及び製品    | 40,600  | 未払法人税等        | 1,879   |
| 仕掛品       | 1,341   | 賞与引当金         | 2,579   |
| 原材料及び貯蔵品  | 4,093   | 販売促進引当金       | 1,921   |
| その他       | 4,006   | その他           | 9,072   |
| 貸倒引当金     | △315    | 固 定 負 債       | 49,489  |
| 固 定 資 産   | 112,094 | 社 債           | 25,000  |
| 有形固定資産    | 60,576  | 長期借入金         | 5,415   |
| 建物及び構築物   | 18,706  | 繰延税金負債        | 2,907   |
| 機械装置及び運搬具 | 12,259  | 退職給付に係る負債     | 8,757   |
| 土地        | 18,559  | 長期預り金         | 5,337   |
| リース資産     | 514     | その他           | 2,070   |
| 建設仮勘定     | 6,105   | 負 債 合 計       | 107,311 |
| その他       | 4,432   | 純 資 産 の 部     |         |
| 無形固定資産    | 19,914  | 株 主 資 本       | 139,064 |
| のれん       | 12,400  | 資 本 本 金       | 13,226  |
| その他       | 7,514   | 資 本 剰 余 金     | 2,417   |
| 投資その他の資産  | 31,603  | 利 益 剰 余 金     | 124,788 |
| 投資有価証券    | 26,143  | 自 己 株 式       | △1,368  |
| 退職給付に係る資産 | 877     | その他の包括利益累計額   | 9,133   |
| 繰延税金資産    | 1,648   | その他有価証券評価差額金  | 9,814   |
| その他       | 2,995   | 繰延ヘッジ損益       | 114     |
| 貸倒引当金     | △60     | 為替換算調整勘定      | △196    |
| 資 産 合 計   | 287,106 | 退職給付に係る調整累計額  | △599    |
|           |         | 非支配株主持分       | 31,597  |
|           |         | 純 資 産 合 計     | 179,795 |
|           |         | 負 債 純 資 産 合 計 | 287,106 |

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

## 連 結 損 益 計 算 書

( 2018年4月1日から  
2019年3月31日まで )

(単位：百万円)

| 科 目                           | 金 額   |         |
|-------------------------------|-------|---------|
| 売 上 高                         |       | 277,443 |
| 売 上 原 価                       |       | 168,694 |
| 売 上 総 利 益                     |       | 108,749 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費           |       | 90,945  |
| 営 業 利 益                       |       | 17,804  |
| 営 業 外 収 益                     |       |         |
| 受 取 利 息                       | 234   |         |
| 受 取 配 当 金                     | 565   |         |
| そ の 他                         | 660   | 1,461   |
| 営 業 外 費 用                     |       |         |
| 支 払 利 息                       | 387   |         |
| 為 替 差 損                       | 122   |         |
| そ の 他                         | 396   | 905     |
| 経 常 利 益                       |       | 18,359  |
| 特 別 利 益                       |       |         |
| 固 定 資 産 売 却 益                 | 290   |         |
| 事 業 譲 渡 益                     | 291   |         |
| 受 取 保 険 金                     | 85    |         |
| そ の 他                         | 28    | 696     |
| 特 別 損 失                       |       |         |
| 固 定 資 産 除 売 却 損               | 318   |         |
| 減 損 損 失                       | 696   |         |
| 災 害 に よ る 損 失                 | 246   |         |
| そ の 他                         | 136   | 1,397   |
| 税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益         |       | 17,658  |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税         | 5,443 |         |
| 法 人 税 等 調 整 額                 | △132  | 5,310   |
| 当 期 純 利 益                     |       | 12,347  |
| 非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 |       | 1,936   |
| 親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 |       | 10,411  |

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

## 貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部   |         | 負 債 の 部       |         |
|-----------|---------|---------------|---------|
| 科 目       | 金 額     | 科 目           | 金 額     |
| 流動資産      | 29,375  | 流動負債          | 14,347  |
| 現金及び預金    | 12,402  | 短期借入金         | 4,677   |
| 売掛金       | 436     | 1年内返済予定の長期借入金 | 5,100   |
| 有価証券      | 8,500   | 未払金           | 423     |
| 前払費用      | 127     | 未払消費税等        | 73      |
| 短期貸付金     | 6,169   | 未払費用          | 411     |
| その他       | 1,739   | 未払法人税等        | 750     |
| 固定資産      | 96,188  | 預り金           | 2,573   |
| 有形固定資産    | 3,587   | 賞与引当金         | 196     |
| 建物        | 1,055   | その他           | 140     |
| 構築物       | 80      | 固定負債          | 35,189  |
| 車両運搬具     | 18      | 社債            | 25,000  |
| 工具、器具及び備品 | 309     | 長期借入金         | 5,000   |
| 土地        | 2,066   | 繰延税金負債        | 3,813   |
| リース資産     | 58      | 退職給付引当金       | 842     |
| 無形固定資産    | 418     | 長期預り金         | 273     |
| 施設利用権     | 5       | その他           | 261     |
| ソフトウェア    | 396     | 負債合計          | 49,536  |
| その他       | 16      | 純資産の部         |         |
| 投資その他の資産  | 92,182  | 株主資本          | 66,704  |
| 投資有価証券    | 20,948  | 資本金           | 13,226  |
| 関係会社株式    | 63,752  | 資本剰余金         | 3,158   |
| 長期貸付金     | 6,868   | 資本準備金         | 3,158   |
| その他       | 642     | その他資本剰余金      | 0       |
| 貸倒引当金     | △30     | 利益剰余金         | 51,687  |
|           |         | 利益準備金         | 3,305   |
|           |         | その他利益剰余金      | 48,382  |
|           |         | 固定資産圧縮積立金     | 234     |
|           |         | 別途積立金         | 35,000  |
|           |         | 繰越利益剰余金       | 13,147  |
|           |         | 自己株式          | △1,368  |
|           |         | 評価・換算差額等      | 9,323   |
|           |         | その他有価証券評価差額金  | 9,323   |
|           |         | 純資産合計         | 76,027  |
| 資産合計      | 125,564 | 負債純資産合計       | 125,564 |

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

## 損 益 計 算 書

( 2018年4月1日から  
2019年3月31日まで )

(単位：百万円)

| 科 目                   | 金 額   |       |
|-----------------------|-------|-------|
| 営 業 収 益               |       |       |
| 営 業 収 入               |       | 5,091 |
| 営 業 費 用               |       |       |
| 営 業 原 価               | 2,524 |       |
| 販売費及び一般管理費            | 1,829 | 4,353 |
| 営 業 利 益               |       | 738   |
| 営 業 外 収 益             |       |       |
| 受取利息及び配当金             | 656   |       |
| そ の 他                 | 23    | 680   |
| 営 業 外 費 用             |       |       |
| 支 払 利 息               | 252   |       |
| そ の 他                 | 35    | 287   |
| 経 常 利 益               |       | 1,130 |
| 特 別 利 益               |       |       |
| 固 定 資 産 売 却 益         | 147   |       |
| 関 係 会 社 株 式 売 却 益     | 676   |       |
| そ の 他                 | 3     | 827   |
| 税 引 前 当 期 純 利 益       |       | 1,957 |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 | 208   |       |
| 法 人 税 等 調 整 額         | △19   | 188   |
| 当 期 純 利 益             |       | 1,769 |

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

## 独立監査人の監査報告書

2019年5月10日

宝ホールディングス株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山口弘志 ㊞

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 下井田晶代 ㊞

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、宝ホールディングス株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、宝ホールディングス株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上



## 独立監査人の監査報告書

2019年5月10日

宝ホールディングス株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山口弘志 ㊞

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 下井田晶代 ㊞

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、宝ホールディングス株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第108期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監 査 報 告 書

当監査役会は、2018年4月1日から2019年3月31日までの第108期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、監査部その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社等において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて海外を含む子会社の本社及び主要な事業所に赴き事業の報告を受け、業務及び財産の状況を調査いたしました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③ 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第3号イの基本方針及び同号ロの各取組みについては、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。
  - ④ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実とは認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
- ④ 事業報告に記載されている会社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針については、指摘すべき事項は認められません。事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第3号ロの各取組みは、当該基本方針に沿ったものであり、当社の株主共同の利益を損なうものではなく、かつ、当社の会社社員の地位の維持を目的とするものではないと認めます。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2019年5月13日

宝ホールディングス株式会社 監査役会

|       |           |
|-------|-----------|
| 常勤監査役 | 渡 邊 西 造 ㊞ |
| 常勤監査役 | 山 中 俊 人 ㊞ |
| 常勤監査役 | 三 枝 智 之 ㊞ |
| 常勤監査役 | 鷺 野 稔 ㊞   |
| 監査役   | 北 井 久美子 ㊞ |

(注) 常勤監査役山中俊人、常勤監査役三枝智之及び監査役北井久美子は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

以 上

## 株主総会参考書類

### 議案および参考事項

#### 第1号議案 剰余金処分の件

当社は、株主の皆様への積極的な利益還元を経営上の重要課題と位置付け、業績、財務状況、今後の事業展開などを総合的に勘案して利益還元を実施していくこととしております。

この方針に基づき、当期の期末配当につきましては、次のとおり1株につき、前期より2円増額して、18円といたしたいと存じます。

#### 期末配当に関する事項

(1) 配当財産の種類

金銭

(2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき金18円

総額金3,593,340,666円

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2019年6月28日

## 第2号議案 取締役9名選任の件

本総会終結の時をもって取締役 大宮 久、柿本敏男、木村 睦、仲尾功一、村田謙二、高橋秀夫、森 圭助、吉田寿彦および友常理子の9氏全員が任期満了となります。

つきましては、取締役9名を選任願いたいと存じます。

取締役候補者は次のとおりであります。

当社の定める取締役候補者の基準ならびに社外役員の独立性判断基準につきましては、40頁以降をご参照ください。

| 候補者番号                                                                                                                                                                | 氏名等<br>生年月日                                                                                                                                                                                                                                                                            | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1                                                                                                                                                                    | <p style="text-align: center;">おおみや ひさし<br/>大 宮 久</p> <p style="text-align: center;"><b>【再任】</b></p> <p style="text-align: center;">1943年6月9日生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●所有する当社株式の数<br/>438,350株</li> <li>●当社との特別の利害関係なし</li> <li>●当期取締役会出席状況<br/>14回中14回</li> </ul> | <p>1968年4月 当社入社</p> <p>1974年5月 当社取締役</p> <p>1982年6月 当社常務取締役</p> <p>1988年6月 当社専務取締役</p> <p>1991年6月 当社代表取締役副社長</p> <p>1993年6月 当社代表取締役社長</p> <p>2002年4月 当社代表取締役社長、<br/>宝酒造株式会社代表取締役社長、<br/>タカラバイオ株式会社取締役会長</p> <p>2012年6月 当社代表取締役会長、<br/>宝酒造株式会社代表取締役会長、<br/>タカラバイオ株式会社取締役会長</p> <p>2017年7月 当社代表取締役会長、<br/>宝酒造株式会社代表取締役会長、<br/>宝酒造インターナショナル株式会社代表取締役会長、<br/>タカラバイオ株式会社取締役会長<br/>現在に至る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●重要な兼職の状況<br/>宝酒造株式会社 代表取締役会長<br/>宝酒造インターナショナル株式会社 代表取締役会長<br/>タカラバイオ株式会社 取締役会長</li> </ul> |
| <p>●取締役候補者とした理由</p> <p>当社の代表取締役として長年にわたりリーダーシップを発揮し、また、当社グループの国内事業、海外事業およびバイオ事業をはじめとするあらゆる事業・分野における豊富な経験と実績を有するとともに、当社の定める取締役候補者の基準を満たしていることから、引き続き取締役候補者となりました。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

| 候補者番号                                                                                                                                                                                                | 氏名<br>生年月日等                                                                                                                                                                                                                                                                | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2                                                                                                                                                                                                    | <p style="text-align: center;">きむらむつみ<br/>木村睦</p> <p style="text-align: center;">【再任】</p> <p style="text-align: center;">1963年2月3日生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●所有する当社株式の数<br/>52,500株</li> <li>●当社との特別の利害関係なし</li> <li>●当期取締役会出席状況<br/>14回中14回</li> </ul> | <p>1985年4月 当社入社</p> <p>2002年4月 タカラバイオ株式会社取締役</p> <p>2004年6月 同社常務取締役</p> <p>2007年6月 同社専務取締役</p> <p>2009年5月 同社取締役副社長</p> <p>2009年6月 同社代表取締役副社長</p> <p>2014年6月 当社取締役、<br/>宝酒造株式会社専務取締役</p> <p>2016年6月 当社代表取締役副社長、<br/>宝酒造株式会社専務取締役</p> <p>2017年6月 当社代表取締役副社長、<br/>宝酒造株式会社取締役</p> <p>2017年7月 当社代表取締役副社長、<br/>宝酒造インターナショナル株式会社代表取締役社長、<br/>宝酒造株式会社取締役</p> <p>2018年6月 当社代表取締役社長、<br/>宝酒造インターナショナル株式会社代表取締役社長、<br/>宝酒造株式会社取締役<br/>現在に至る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●重要な兼職の状況<br/>宝酒造インターナショナル株式会社 代表取締役社長<br/>宝酒造株式会社 取締役</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●取締役候補者とした理由<br/>当社の代表取締役としてリーダーシップを発揮し、また、当社グループの経営企画、財務、経理等の分野における豊富な経験と実績および海外事業にも携わるなどの経験を有するとともに、当社の定める取締役候補者の基準を満たしていることから、引き続き取締役候補者となりました。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

| 候補者番号                                                                                                | 氏名等<br>生年月日                                                                                                                                                                                            | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3                                                                                                    | <p>なか お こう いち<br/>仲 尾 功 一</p> <p>【再任】</p> <p>1962年6月16日生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●所有する当社株式の数<br/>19,500株</li> <li>●当社との特別の利害関係<br/>下記参照</li> <li>●当期取締役会出席状況<br/>14回中14回</li> </ul> | <p>1985年4月 当社入社</p> <p>2002年4月 タカラバイオ株式会社取締役</p> <p>2003年6月 同社常務取締役</p> <p>2004年6月 同社専務取締役</p> <p>2007年6月 同社代表取締役副社長</p> <p>2009年5月 同社代表取締役社長</p> <p>2009年6月 当社取締役、<br/>タカラバイオ株式会社代表取締役社長<br/>現在に至る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●重要な兼職の状況<br/>タカラバイオ株式会社 代表取締役社長</li> </ul> |
| 4                                                                                                    | <p>むら た けん じ<br/>村 田 謙 二</p> <p>【再任】</p> <p>1959年11月27日生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●所有する当社株式の数<br/>33,700株</li> <li>●当社との特別の利害関係<br/>なし</li> <li>●当期取締役会出席状況<br/>14回中14回</li> </ul>   | <p>1983年4月 当社入社</p> <p>2010年6月 宝酒造株式会社取締役兼常務執行役員</p> <p>2014年6月 同社常務取締役</p> <p>2016年6月 当社取締役、<br/>宝酒造株式会社代表取締役副社長</p> <p>2017年6月 当社取締役、<br/>宝酒造株式会社代表取締役社長<br/>現在に至る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●重要な兼職の状況<br/>宝酒造株式会社 代表取締役社長</li> </ul>                                   |
| <p>●取締役候補者とした理由<br/>当社グループの国内事業における豊富な経験と実績を有するとともに、当社の定める取締役候補者の基準を満たしていることから、引き続き取締役候補者となりました。</p> |                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                            |



| 候補者番号 | 氏名等<br>生年月日                                                                                                                                                                                                                                          | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5     | たか はし ひで お<br>高 橋 秀 夫<br><br><b>【再任】</b><br>1961年12月7日生<br><br>●所有する当社株式の数<br>10,101株<br>●当社との特別の利害関係<br>なし<br>●当期取締役会出席状況<br>9回中9回(取締役就任後)<br><br>●取締役候補者とした理由<br>当社グループの人事等に関する分野における豊富な経験と実績を有するとともに、当社の定める取締役候補者の基準を満たしていることから、引き続き取締役候補者となりました。 | 1985年4月 当社入社<br>2016年6月 宝酒造株式会社執行役員<br>2017年6月 当社執行役員<br>2018年6月 当社取締役、<br>宝酒造株式会社監査役<br>現在に至る<br><br>●当社における現担当<br>人事、総務、環境広報、品質保証担当<br>●重要な兼職の状況<br>宝酒造株式会社 監査役                                                          |
| 6     | もり けい すけ<br>森 圭 助<br><br><b>【再任】</b><br>1962年7月8日生<br><br>●所有する当社株式の数<br>10,400株<br>●当社との特別の利害関係<br>なし<br>●当期取締役会出席状況<br>9回中9回(取締役就任後)<br><br>●取締役候補者とした理由<br>当社グループの経営企画等に関する分野における豊富な経験と実績を有するとともに、当社の定める取締役候補者の基準を満たしていることから、引き続き取締役候補者となりました。    | 1985年4月 当社入社<br>2017年6月 当社執行役員<br>2017年7月 当社執行役員、<br>宝酒造インターナショナル株式会社監査役<br>2018年6月 当社取締役、<br>宝酒造インターナショナル株式会社監査役<br>現在に至る<br><br>●当社における現担当<br>事業管理、I R、経理・シェアードサービス、<br>事業支援・IT推進担当<br>●重要な兼職の状況<br>宝酒造インターナショナル株式会社 監査役 |

| 候補者番号 | 氏名等<br>生年月日                                                                                                                                                                                                                                            | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7     | <p>よしだとしひこ<br/>吉田 寿彦</p> <p>【再任】</p> <p>&lt;社外&gt;&lt;独立&gt;</p> <p>1955年3月18日生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●所有する当社株式の数<br/>0株</li> <li>●当社との特別の利害関係なし</li> <li>●当期取締役会出席状況<br/>14回中11回</li> <li>●当社社外取締役在任期間<br/>3年（本総会終結時）</li> </ul> | <p>1973年4月 国税庁仙台国税局入局</p> <p>2003年7月 財務省主税局主税調査官</p> <p>2004年7月 国税庁東京国税局銚子税務署長</p> <p>2006年7月 同庁東京国税局課税第二部酒類業調整官</p> <p>2007年7月 同庁課税部酒税課酒税企画官</p> <p>2009年7月 同庁東京国税局総務部企画課長</p> <p>2010年7月 同庁東京国税局課税第二部酒税課長</p> <p>2012年7月 同庁課税部消費税室長</p> <p>2014年7月 同庁高松国税局長</p> <p>2015年7月 同庁退官</p> <p>2015年8月 吉田寿彦税理士事務所税理士（現職）</p> <p>2016年6月 当社社外取締役（現職）、<br/>宝酒造株式会社取締役（非業務執行取締役）<br/>（2017年6月まで）<br/>現在に至る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●重要な兼職の状況<br/>吉田寿彦税理士事務所 税理士</li> </ul>                                                                                                      |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●社外取締役候補者とした理由等</li> </ul>                                                                                                                                                                                      | <p>・同氏は、社外取締役候補者であります。同氏については、税務に関する豊富な経験と実績および高い見識を有しており、これらが当社の経営体制の一層の充実に反映されるものと判断されるとともに、当社の定める社外取締役候補者の基準を満たしていることから、引き続き社外取締役候補者となりました。</p> <p>・同氏はこれまで社外役員または非業務執行役員となること以外の方法で会社の経営に関与したことはありませんが、同様の理由により、社外取締役としての職務を適切に遂行することができると判断しております。</p> <p>・同氏は、当社の子会社である宝酒造株式会社の取締役（非業務執行取締役）であったことがあります。</p> <p>・同氏については、当社の定める社外役員の独立性判断基準を満たしており、当社が株式を上場している東京証券取引所に対し、同取引所の規則等に定める「独立役員」としての届出をしております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●責任限定契約について</li> </ul> <p>当社は、同氏との間で、会社法第425条第1項各号の額の合計額を責任限度額とする責任限定契約を締結しており、本議案において同氏の選任が承認された場合、当該責任限定契約を継続する予定であります。</p> |

| 候補者番号 | 氏名等<br>生年月日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8     | <p>とも つね まさ こ<br/>友 常 理 子<br/>(戸籍上の氏名 井崎理子)</p> <p><b>【再任】</b></p> <p>&lt; 社外 &gt; &lt; 独立 &gt;</p> <p>1972年2月17日生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●所有する当社株式の数<br/>0株</li> <li>●当社との特別の利害関係<br/>なし</li> <li>●当期取締役会出席状況<br/>9回中9回(取締役就任後)</li> <li>●当社社外取締役在任期間<br/>1年(本総会終結時)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <p>2002年10月 弁護士登録(第一東京弁護士会)、<br/>田辺総合法律事務所入所</p> <p>2010年4月 自衛隊員倫理審査会委員(現職)</p> <p>2013年4月 田辺総合法律事務所パートナー(現職)</p> <p>2018年6月 当社社外取締役(現職)<br/>現在に至る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●重要な兼職の状況<br/>田辺総合法律事務所 パートナー<br/>自衛隊員倫理審査会 委員</li> </ul> |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●社外取締役候補者とした理由等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・同氏は、社外取締役候補者であります。同氏については、弁護士として企業法務等に関する豊富な経験と実績および高い見識を有しており、これらが当社の経営体制の一層の充実に反映されるものと判断されるとともに、当社の定める社外取締役候補者の基準を満たしていることから、引き続き社外取締役候補者としました。</li> <li>・同氏はこれまで社外役員となること以外の方法で会社の経営に関与したことはありませんが、同様の理由により、社外取締役としての職務を適切に遂行することができると判断しております。</li> <li>・同氏については、当社の定める社外役員の独立性判断基準を満たしており、当社が株式を上場している東京証券取引所に対し、同取引所の規則等に定める「独立役員」としての届出をしております。</li> </ul> </li> <li>●責任限定契約について <p>当社は、同氏との間で、会社法第425条第1項各号の額の合計額を責任限度額とする責任限定契約を締結しており、本議案において同氏の選任が承認された場合、当該責任限定契約を継続する予定であります。</p> </li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                         |

| 候補者番号 | 氏名<br>生年月日等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9     | <p>かわ かみ とも こ<br/>川 上 智 子</p> <p>【新任】</p> <p>&lt;社外&gt;&lt;独立&gt;</p> <p>1965年5月3日生</p> <p>●所有する当社株式の数<br/>0株</p> <p>●当社との特別の利害関係<br/>なし</p> <p>●当期取締役会出席状況<br/>—</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <p>2000年4月 関西大学商学部専任講師</p> <p>2002年4月 関西大学商学部助教授</p> <p>2003年4月 ワシントン大学 Foster School of Business<br/>客員研究員<br/>(2004年3月まで、および2007年10月から<br/>2008年3月まで)</p> <p>2007年4月 関西大学商学部准教授</p> <p>2009年4月 関西大学商学部教授 (2015年3月まで)</p> <p>2012年8月 INSEAD ブルーオーシャン戦略研究所 (フランス)<br/>客員研究員 (現職)</p> <p>2013年1月 ワシントン大学 Foster School of Business<br/>フルブライト研究員 (2013年3月まで)</p> <p>2013年10月 南洋理工大学アジア消費者インサイト研究所<br/>(シンガポール) リサーチフェロー<br/>(2018年7月まで)</p> <p>2015年4月 早稲田大学大学院 商学大学院 経営管理研究科<br/>教授 (現職)</p> <p>2016年4月 早稲田大学総合研究機構 早稲田ブルー・オーシャン<br/>戦略研究所 (現: 早稲田ブルー・オーシャン・<br/>シフト研究所) 幹事 (現職)</p> <p>2019年4月 早稲田大学総合研究機構 マーケティング<br/>国際研究所所長 (現職)<br/>現在に至る</p> <p>●重要な兼職の状況<br/>早稲田大学大学院 商学大学院 経営管理研究科 教授</p> |
|       | <p>●社外取締役候補者とした理由等</p> <p>・同氏は、社外取締役候補者であります。同氏については、経営学およびマーケティング等に関する豊富な経験と実績および高い見識を有しており、これらが当社の経営体制の一層の充実には反映されるものと判断されるとともに、当社の定める社外取締役候補者の基準を満たしていることから、社外取締役候補者としてしました。</p> <p>・同氏はこれまで会社の経営に関与したことはありませんが、同様の理由により、社外取締役としての職務を適切に遂行できると判断しております。</p> <p>・同氏については、当社の定める社外役員の独立性判断基準を満たしており、当社が株式を上場している東京証券取引所に対し、同取引所の規則等に定める「独立役員」としての届出を行うこととしております。</p> <p>●責任限定契約について</p> <p>本議案において同氏の選任が承認された場合、当社は、同氏との間で、会社法第425条第1項各号の額の合計額を責任限度額とする責任限定契約を締結する予定であります。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

### 第3号議案 監査役2名選任の件

本総会終結の時をもって監査役 渡邊西造および北井久美子の両氏が任期満了となります。

つきましては、監査役2名を選任願いたいと存じます。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

当社の定める監査役候補者の基準ならびに社外役員の独立性判断基準につきましては、40頁以降をご参照ください。

| 候補者番号 | 氏名等<br>生年月日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 略歴、地位および重要な兼職の状況                                                                                          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1     | わたなべ ゆうぞう<br><b>渡邊西造</b><br><br><b>【再任】</b><br><br>1956年3月20日生<br><br>●所有する当社株式の数<br>14,100株<br>●当社との特別の利害関係なし<br>●当期取締役会出席状況<br>14回中14回<br>●当期監査役会出席状況<br>14回中14回<br><br>●監査役候補者とした理由<br>当社グループの酒類を中心とする国内事業における技術開発および生産管理の分野における豊富な経験・実績・知識ならびに商品の設計・表示の審査や製造工程等の監査等をはじめとする品質保証に関する分野における豊富な経験・実績・知識を有するとともに、当社の定める監査役候補者の基準を満たしていることから、引き続き監査役候補者となりました。 | 1978年4月 当社入社<br><br>2009年4月 宝酒造株式会社執行役員<br><br>2015年6月 当社常勤監査役（現職）、<br>宝酒造株式会社監査役（2017年6月まで）<br><br>現在に至る |

| 候補者番号 | 氏名<br>生年月日等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 略歴、地位および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2     | <p>きた い く み こ<br/>北 井 久美子</p> <p>【再任】</p> <p>&lt; 社外 &gt; &lt; 独立 &gt;</p> <p>1952年10月29日生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●所有する当社株式の数<br/>0株</li> <li>●当社との特別の利害関係<br/>なし</li> <li>●当期取締役会出席状況<br/>14回中14回</li> <li>●当期監査役会出席状況<br/>14回中14回</li> <li>●当社社外監査役在任期間<br/>8年（本総会終結時）</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <p>1976年4月 労働省入省</p> <p>1992年6月 同省職業安定局地域雇用対策課長</p> <p>1994年6月 同省婦人局婦人福祉課長</p> <p>1996年4月 同省婦人局婦人政策課長</p> <p>1997年10月 同省女性局女性政策課長</p> <p>1999年7月 静岡県副知事</p> <p>2001年8月 中央労働委員会事務局次長</p> <p>2003年8月 厚生労働省大臣官房審議官（雇用均等・児童家庭担当）</p> <p>2005年8月 同省雇用均等・児童家庭局長</p> <p>2006年9月 中央労働委員会事務局長</p> <p>2007年8月 厚生労働省退官</p> <p>2007年8月 中央労働災害防止協会専務理事</p> <p>2011年5月 同協会理事退任</p> <p>2011年6月 当社社外監査役（現職）、<br/>宝酒造株式会社社外監査役（2016年6月まで）</p> <p>2014年6月 株式会社協和エクシオ社外取締役（現職）</p> <p>2014年6月 三井住友建設株式会社社外取締役（現職）</p> <p>2014年7月 勝どき法律事務所弁護士（現職）</p> <p>2016年6月 宝酒造株式会社社外監査役（2017年6月まで）<br/>現在に至る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●重要な兼職の状況<br/>株式会社協和エクシオ 社外取締役<br/>三井住友建設株式会社 社外取締役<br/>勝どき法律事務所 弁護士</li> </ul> |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●社外監査役候補者とした理由等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・同氏は、社外監査役候補者であります。同氏については、厚生労働省等において要職を歴任しており、労働法制等をはじめとするその豊富な経験と実績および高い見識が当社の監査体制の一層の充実に反映されるものと判断されるとともに、当社の定める社外監査役候補者の基準を満たしていることから、引き続き社外監査役候補者となりました。</li> <li>・同氏はこれまで社外役員または非常勤の監査役となること以外の方法で会社の経営に参与したことはありませんが、同様の理由により、社外監査役としての職務を適切に遂行することができるかと判断しております。</li> <li>・同氏は、当社の子会社である宝酒造株式会社の監査役であったことがあります。</li> <li>・同氏については、当社の定める社外役員の独立性判断基準を満たしており、当社が株式を上場している東京証券取引所に対し、同取引所の規則等に定める「独立役員」としての届出をしております。</li> </ul> </li> <li>●責任限定契約について<br/>当社は、同氏との間で、会社法第425条第1項各号の額の合計額を責任限度額とする責任限定契約を締結しており、本議案において同氏の選任が承認された場合、当該責任限定契約を継続する予定であります。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

#### 第4号議案 取締役の報酬額改定の件

当社の取締役の固定報酬額は、2017年6月29日開催の第106回定時株主総会において年額1億3,600万円以内（うち社外取締役分2,000万円以内）とご決議いただき現在に至っておりますが、今般、コーポレートガバナンス体制の一層の強化に向けて社外取締役を増員することに伴い、次のとおり改定いたしたいと存じます。

##### 取締役の固定報酬額

年額1億3,600万円以内（うち社外取締役分3,000万円以内）

なお、これらの報酬の各取締役への配分につきましては、取締役会に一任いたしたいと存じます。また、この報酬額には、従来どおり使用人兼務取締役の使用人分の給与は含まないものとしたしたいと存じます。

現在の取締役の員数は社外取締役2名を含む9名ですが、第2号議案が原案どおり承認可決されますと、社外取締役3名を含む9名となります。

（注）当社の取締役の報酬は、上記の固定報酬額と業績連動報酬額（年間につき前事業年度の連結営業利益の1%相当額以内。ただし、社外取締役以外の取締役を対象。）から構成されておりますが、業績連動報酬額についての改定は行いません。

以上

(ご参考)

### 取締役・監査役候補者の指名に関する方針と手続

取締役候補者の指名については、次の基準に照らし、代表取締役社長が他の代表取締役との協議を経て取締役会に提案し、決議している。

- ・優れた人格・見識と経営全般の見地から経営課題を認識してこれを解決できる能力を有すること。
- ・社内取締役においては、専門分野における十分な知見・経験・実績を有するとともに、高い組織運営能力を有すること。
- ・社外取締役においては、出身の各分野における豊富な経験を有するとともに、独立した立場から取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言ができる資質を有していること。

監査役候補者の指名については、次の基準に照らし、代表取締役社長が他の代表取締役との協議を経た上で監査役会の同意を得て取締役会に提案し、決議している。

- ・優れた人格・見識と経営全般の見地から経営課題を認識して経営陣に提言できる能力を有すること。
- ・社内監査役においては、専門分野における十分な知見・経験・実績を有すること。
- ・社外監査役においては、出身の各分野における豊富な経験を有するとともに、独立した立場から取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言ができる資質を有していること。



## 社外役員の独立性判断基準

当社は、社外取締役および社外監査役（以下総称して「社外役員」という。）のうち、以下の各要件のすべてを満たす場合には、当社からの独立性を有している者と判断する。

1. 現在および過去のいずれの時点においても、次の要件を満たすこと。  
当社、当社の子会社または関連会社（以下総称して「当社グループ」という。）の業務執行者（業務執行取締役、執行役または支配人その他の使用人をいう。以下同じ。）でないこと。
2. 現在および過去5年間において、次のすべての要件を満たすこと。
  - (1) 当社の大株主（総議決権の10%以上の議決権を直接または間接的に保有している者をいう。）またはその業務執行者でないこと。
  - (2) 当社グループが総議決権の10%以上の議決権を有する会社その他の団体またはその業務執行者でないこと。
  - (3) 当社グループの主要な取引先である者（当社グループとの取引額が、当社の一事業年度における連結売上高の2%以上の者をいう。）またはその業務執行者でないこと。
  - (4) 当社グループを主要な取引先とする者（当社グループとの取引額が、自らの一事業年度における連結売上高の2%以上の者をいう。）またはその業務執行者でないこと。
  - (5) 当社グループの主要な借入先（当社グループの借入金残高が、当社の連結総資産の2%以上の借入先をいう。ただし、これに該当しない場合であっても、当社の事業報告等において「主要な借入先」として記載する借入先については、当社グループの主要な借入先に該当するものとみなす。）またはその業務執行者でないこと。
  - (6) 当社グループから役員報酬以外に、年間1,000万円以上の報酬等を受領している弁護士、公認会計士、税理士、コンサルタント等の専門サービス提供者（法人その他の団体であるときはそれに所属して当該サービスを提供する者）でないこと。
  - (7) 当社グループの会計監査人（法人であるときはそれに所属して業務を執行する者）でないこと。
  - (8) 当社グループから年間1,000万円以上の寄付を受けている者（法人その他の団体であるときはそれに所属して業務を執行する者）でないこと。
  - (9) 社外役員の相互就任関係（当社グループの業務執行者が当社グループ以外の会社の社外役員であり、かつ、当該当社グループ以外の会社の業務執行者が当社の社外役員である関係をいう。）となる会社の業務執行者でないこと。
  - (10) 近親者（配偶者または二親等内の親族をいう。）が、当社グループの業務執行者（使用人にあつては部長に相当する役職以上の者に限る。）でなく、かつ、上記（1）から（9）までに掲げる者（会社の業務執行者のうち使用人にあつては部長に相当する役職以上の者に限り、会社以外の団体に所属する者にあつては重要な業務を執行する者に限る。）でないこと。
3. その他、独立した社外役員としての職務を果たせないと合理的に判断される事情を有していないこと。

MEMO



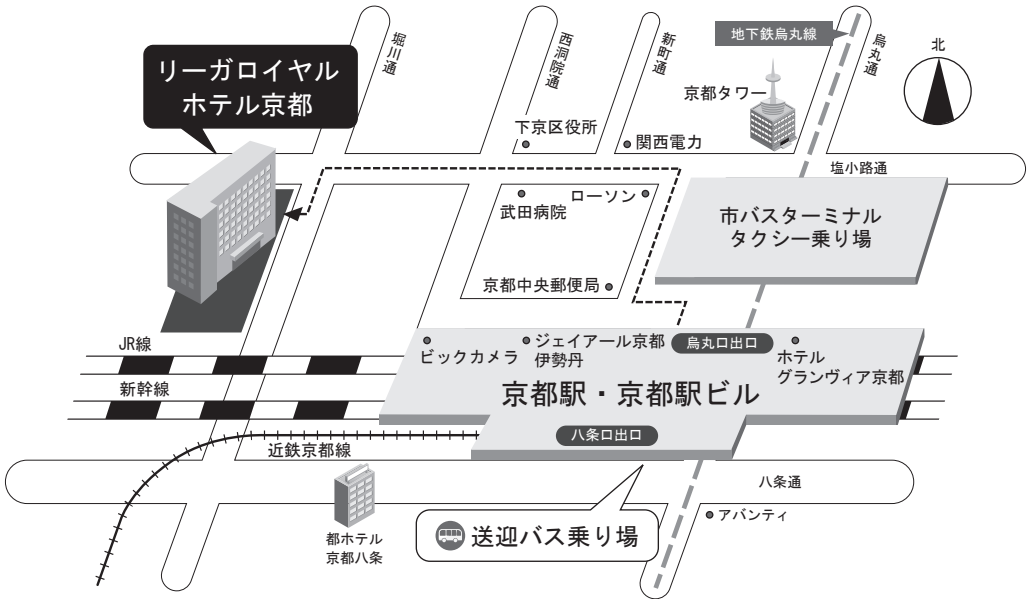
## 定時株主総会会場ご案内図

会場

京都市下京区東堀川通塩小路下ル松明町1番地  
リーガロイヤルホテル京都2階「春秋の間」

交通

京都駅烏丸口出口（市バスターミナル側）より  
塩小路通を西に歩いて約10分



※京都駅八条口出口（新幹線口）付近からリーガロイヤルホテル京都までの無料送迎バスサービスはございますが、輸送可能人員に限りがありますので、できる限り徒歩でお越しくださいますようお願い申し上げます。